

創作活動アクティビティ

- 1 ウッドクラフト
- 2 ウッドレジン
- 3 表札づくり
- 4 写真立てづくり
- 5 マイはしづくり
- 6 えだエンピツ
- 7 ワックスボールづくり
- 8 七宝焼き
- 9 草木染め
- 10 うどんづくり
- 11 ピザづくり

ウッドクラフト

対象 幼児以上

定員 100名


ねらい 作品をつくりだす喜び 自然との関わりへの関心

時間 60分

準備物

- [団体] 新聞紙 水性ペン（ポスカ小、プロッキー小等） 活動により必要な物
 [購入するもの] バッグタグセット（輪切り材又は斜め輪切り材、紙やすり、紐）
 キーホルダーセット（輪切り材又は斜め輪切り材、紙やすり、ボールチェーン）
 ネームプレートセット（斜め輪切り材、紙やすり、両用ピン）
 コースターセット（コースター、紙やすり）
 クリアスプレー（希望により）
 [ネイパル] カッター カッターマットなど

展開

時間	活動内容	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ●輪切り材を活用したプログラム。4種類ある。 ①バッグタグ作り ②キーホルダー作り ③ネームプレート作り ④コースター作り 	
	<ul style="list-style-type: none"> ●事前準備 ・机上に新聞紙を敷く。 ・材料の配付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にある道具 カッター、小刀 カッターマット
5分	<ul style="list-style-type: none"> ●作り方と趣旨の説明 ・作品をつくりだす喜びを味わう。 ・豊かな発想や創造力を引き出す。 ・作品のよさや面白さを感じ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全指導
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●素材みがき ・素材を紙やすりでみがく。(①と②は両面) 	<ul style="list-style-type: none"> ・塗装場所の用意 ・けがに注意
25分	<ul style="list-style-type: none"> ●イラスト・文字を描く ・素材に水性ペンや筆ペンで文字や絵を描く。 ---イラスト、言葉、名前、日付など。 ---描き終わったら、塗装場所に並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黄色は塗装後、見えなくなるので注意
15分	<ul style="list-style-type: none"> ●塗装 ・クリアスプレーをかける(①と②は両面) ・塗料が乾燥したら次の事を行う。 ①バッグタグ作り→穴にひもを通し、結ぶ。 ②キーホルダー作り→穴にチェーンを通して、金具を留める ③ネームプレート作り→両用ピンを貼り付ける。 <p>～ できあがり ～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クリアスプレーをかける時には、作品に近すぎないようにする。(空気が表面に入るため) ・2回重ねがけをすると光沢がでる。 ・換気に注意
5分	<ul style="list-style-type: none"> ●後片付け <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>バッグタグ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>キーホルダー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ネームプレート</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>コースター</p> </div> </div>	

ウッドレジン

- 対象** 小学校4年生以上
- 定員** 40名程度
- ねらい** 作品をつくりだす喜び（創意工夫、達成感） 感性の違いの認め合い（鑑賞）
- 時間** 60～90分程度
- 準備物** [団体] 新聞紙 水性ペン（ポスカ小、プロッキー小等） 活動により必要な物
[購入するもの] ウッドレジンセット（レジン、輪切り材3cm程度、紙やすり、紐等）
[ナイパル] 卓上ボール盤、UVライト、つまようじ

展開

時間	活動内容	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ●事前準備 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙を敷く。 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●ウッドレジンの作り方と趣旨の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな発想や想像力を引き出しながら、作品をつくりだす喜びを味わう。互いの作品のよさや面白さを感じ取る。 ●用具の使い方の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・やすりがけの方法、レジンの塗り方、UVライトの照射方法。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引率者はやすりがけデザイン担当、レジン担当に分担しておく、子どもの進行業況に合わせた対応が可能になる。
40～60分	<ul style="list-style-type: none"> ●形成（磨く、デザイン、色付け、レジン） <ol style="list-style-type: none"> ①輪切り材を紙やすりで両面とも磨く。 ②水性マジックでデザイン、色付けをする。（鉛筆で下書き可） ③レジンを片面に凹凸がないように1～1.5mm程度塗る。 ④UVライトを4分照射しレジンを固める。 ⑤穴に紐を通し縛る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・台紙の上に輪切り材を置き1円玉程度レジンを垂らす。「つまようじ」で平らにならしながら気泡をつぶし、UVライトをあてる。 ・UVライトは直視しない。
10～20分	<p>片付け・清掃、振り返り</p> <p>(1) 片付け・清掃</p> <ol style="list-style-type: none"> ①机上のゴミをゴミ箱に捨てる。新聞紙を折りたたみ一カ所に集める。 ②床をほうきやモップで掃除し、長机を床の印に合わせ並べる。 <p>(2) 振り返り</p> <ol style="list-style-type: none"> ①お互いの作品を鑑賞し、いいなと思った点を教えてあげる。 ②工夫した点や上手くいった点などを発表し交流する。 	

● 作成手順



表札づくり


対象 小学生以上 **定員** 100名程度

ねらい 作品をつくりだす喜び 自然との関わりへの関心

時間 70分～90分

準備物 [団体] 必要に応じて飾り付け用の木の実や枝など 新聞紙 接着剤（木工用ボンド及びグルースティック） 水性ペン 鉛筆 持ち帰りの袋など（目安として^縦15cm×^横35cm以上）
 [購入するもの] 表札セット（板、フック、紐）
 [ネイパル] 園芸用はさみ、キリ、ハサミ、グルーガン、延長コードなど

展開

時間	活動内容	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ●事前準備 <ul style="list-style-type: none"> ・机の上に新聞紙を敷く。 ・材料の配付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にある道具 園芸用はさみ キリ ハサミ グルーガン 延長コード
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●表札の作り方と趣旨の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・作品をつくりだす喜びを味わう。 ・豊かな発想や創造力を引き出す。 ・作品のよさや面白さを感じ取る。 	
20分	<ul style="list-style-type: none"> ●材料集め（省略可） <ul style="list-style-type: none"> ・施設周辺の森から、装飾に使う木の実や小枝を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毒草や毒虫に注意
40分	<ul style="list-style-type: none"> ●作品づくり <ul style="list-style-type: none"> ・デザインを考えながら、小枝や木の実などを板の上に並べる ---園芸用はさみで切るなど、並べながら大きさを調整する。 ・デザインが決まったら、木工用ボンドやグルーガンで板に接着する。 ---ボンドの乾燥時間がとれない場合、グルーガンのみを使用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机の上に新聞紙を敷く。 ・やけどに注意 (グルーガン使用時)
15分	<ul style="list-style-type: none"> ●壁かけ用フックのとりつけ <ul style="list-style-type: none"> ・フックを取り付ける位置に鉛筆で印をつけて、キリで穴を開け、フックをねじ込む。 ・フックにひもとをとおし、バランスの良い長さで結ぶ。 ～ できあがり ～ 	
5分	<ul style="list-style-type: none"> ●後片付け 	

写真立てづくり

対象 小学生以上

定員 60名程度

ねらい 作品をつくりだす喜び 自然との関わりへの関心

時間 70分～110分

準備物 [団体] 必要に応じて飾り付け用の木の実や枝など 接着剤（木工用ボンド及びグルースティック） 新聞紙 水性ペン 持ち帰り用の袋など（目安として縦横奥行 25 cm×25 cm×25 cm以上）

[購入するもの] 写真立てセット（ベニヤ板、支柱=小枝、輪ゴム、麻紐、丸型木片、画鋏
L判写真の台紙）

[ナイバル] 園芸用はさみ グルーガン 延長コードなど


展開

時間	活動内容	留意点
	<p>●事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机上に新聞紙を敷く。 ・材料の配付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にある道具 園芸用はさみ グルーガン 延長コード
5分	<p>●写真立ての作り方と趣旨の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品をつくりだす喜びを味わう。 ・豊かな発想や創造力を引き出す。 ・作品のよさや面白さを感じ取る。 	
20分	<p>●材料集め（省略可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設周辺の森から、装飾に使う木の実や小枝を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毒草や毒虫に注意
10分	<p>●スタンドの組み立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小枝を組み合わせて写真立てのスタンドを組み立てる。 ---交差部分を輪ゴムでとめ、目隠しの麻ひもをまく。 	
35～55分	<p>●飾り付け（省略可）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を貼る板やスタンドを、集めてきた木の実や小枝などで飾る。 ---木工用ボンドやグルーガンで接着する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やけどに注意（グルーガン使用時）
10分	<p>●飾りピンの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工用ボンドで、画鋏に目隠し用木片を貼り付ける。 ～ できあがり ～ 	
10分	<p>●後片付け</p> 	

マイはしづくり

- 対象** 小学5年生以上
- 定員** 100名
- ねらい** 作品をつくりだす喜び 自然との関わりへの関心 環境保全
- 時間** 60～150分（人数や使う道具で変化します）
- 準備物**
 - [団体] 新聞紙など
 - [購入するもの] マイはしセット（マイ箸、紙やすり、蜜蝋、蜜蝋塗布用ペーパー）
 - [ネイパル] ミニカンナ、カッター又は小刀 カッター板など

展開

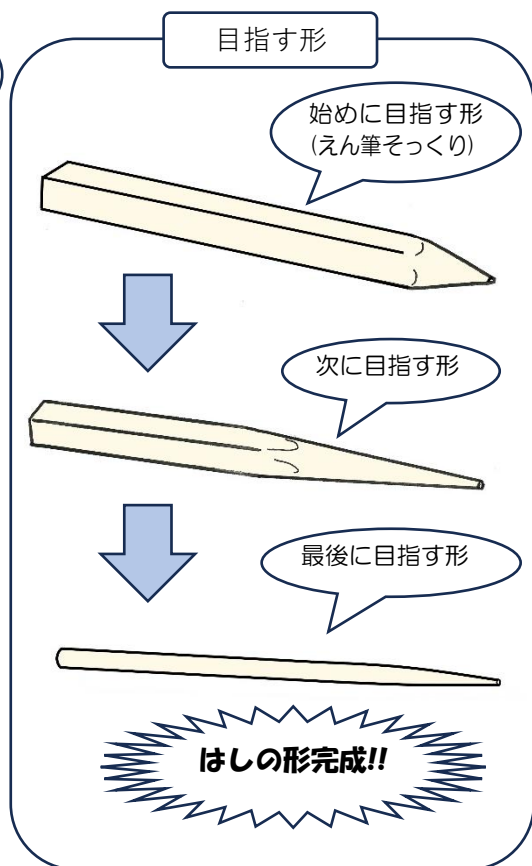
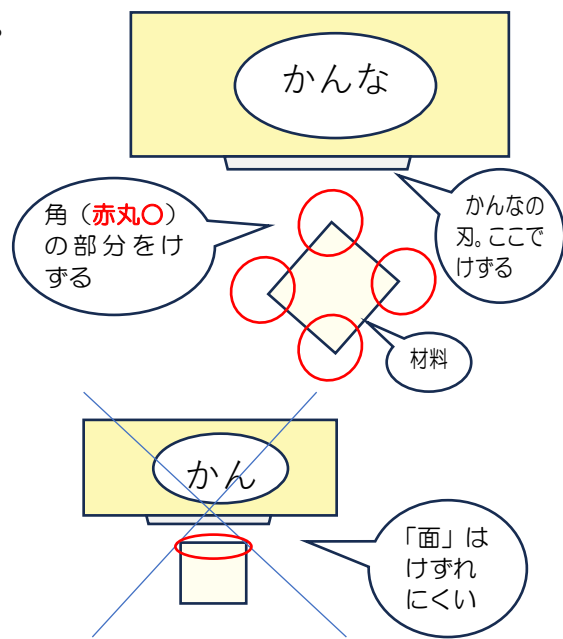
時間	活動内容	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ●事前準備 <ul style="list-style-type: none"> ・机上にカッター板および新聞紙を敷く。 ・材料の配付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にある道具 小刀 カッター カッター板
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●マイはしの作り方と趣旨の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・作品をつくりだす喜びを味わう。 ・豊かな発想や創造力を引き出す。 ・作品のよさや面白さを感じ取る。 ・木材資源の保全など、環境について考える。 	
90分	<ul style="list-style-type: none"> ●削りだし <ul style="list-style-type: none"> ・ミニカンナ又は小刀やカッターで、素材を箸の形に削り出す。 ---①角を丸く削る。 ②先の形をととのえる。 ※模様を刻み込んだりすると、さらに個性的な作品になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机上にカッター板 および新聞紙を敷く。 ・ケガに注意
20分	<ul style="list-style-type: none"> ●みがき <ul style="list-style-type: none"> ・紙やすりで、素材の表面がなめらかになるまでみがく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紙やすりでみがいた後は、 刃物ではけずらない。
20分	<ul style="list-style-type: none"> ●塗装 <ul style="list-style-type: none"> コーティング材（みつろう、オリーブ油など）を紙に含ませ 素材にこすりつける。 ---素材の色が変わらなくなるまで、こすりつける。 ～できあがり～ 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●後片付け 	

※団体の人数によっては、3時間とっていただいたほうがよい場合があります。

《マイはしの作り方》 —ミニかんな使用編—

1. 材料をけずる

- 材料の角をけずり落として、えん筆のような形を作ります。
- 一本目がある程度できたらもう一本もけずります。
- この後は太さのバランスを見ながら交互にけずります。



2. 紙やすりでみがく

はしの形ができあがったら、紙やすりでみがいて表面をなめらかにします。

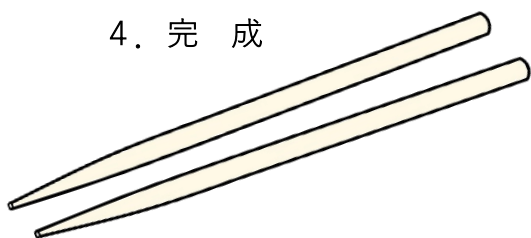
《注》力を入れすぎると折れたりやけどしたりします。

3. 蜜蝋を塗る

みつろう用ペーパーにみつろうをのせ、材料にしみ込ませるような感じで全体にぬりこみます。

※はちみつアレルギーの人は自宅でオリーブ油等の植物油をぬってください。植物油は使用して水切れが悪くなった場合にも有効です

4. 完成



使用後はできるだけ早くに洗って水分を拭き取ります。
※水につけばなしにしておくと、曲がったりカビたりすることがあります。

えだエンピツ

対象

小学校4年生以上

定員

100名

ねらい

作品をつくりだす喜び（創意工夫、達成感） 自然との関わりへの関心（自然愛護）

時間

60分～90分

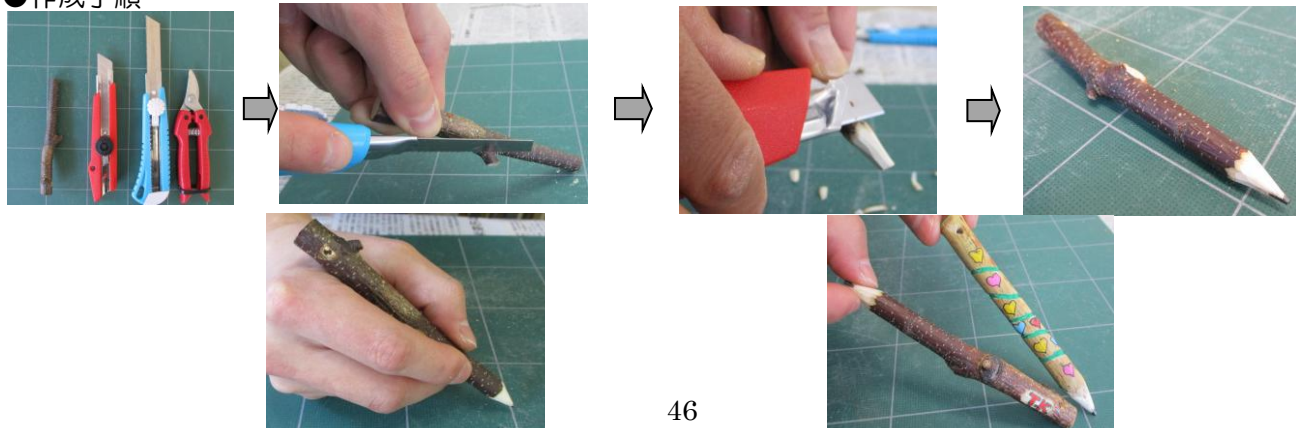
準備物

[団体] 新聞紙 水性ペン（マッキー、プロッキー等） 活動により必要な物
 [購入するもの] えだエンピツ
 [ナイバル] カッター、カッター板、小型のこぎり、園芸用はさみ

展開

時間	活動内容	留意点
	<ul style="list-style-type: none"> ●事前準備 <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙を敷く。 ・材料の配付。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カッターは事前に机上に準備しておく。
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●えだエンピツの作り方と趣旨の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな発想や想像力を引き出しながら、作品をつくりだす喜びを味わう。互いの作品のよさや面白さを感じ取る。 ●用具の使い方の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・カッターの刃の長さは1か2めもり。刃の前に指をおかない。 ・のこぎりは刃を全て出し、力を加えず、重みで引く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策として、カッターの使い方を実演する。また、けがをするパターンも例示する。 ・カッターを使っている人のそばには近寄らないことを互いに確認する。
40～60分	<ul style="list-style-type: none"> ●形成（削る、切断する） <ol style="list-style-type: none"> ①不必要な枝をのこぎりで切る。 ②先端から2cm程度を「えんぴつ」のように削る。 ③必要に応じて、持ち手部分を削り、マッキーなどで着色する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・着色を希望しない場合は、皮を少し削りイニシャルや記号などを書いても良い。
10～20分	片付け・清掃、振り返り (1) 片付け・清掃 <ol style="list-style-type: none"> ①机上のゴミをゴミ箱に捨てる。新聞紙を折りたたみ一カ所に集める。カッター、のこぎり等の借用物は指定の場所に戻す。 ②床をほうきやモップで掃除し、長机を床の印に合わせ並べる。 (2) 振り返り <ol style="list-style-type: none"> ①お互いの作品を鑑賞し、いいなと思った点を教えてあげる。 ②工夫した点や上手くいった点などを発表し交流する。 	



●作成手順



ワックスボールづくり

- 対象** 小学3年生以上
- 定員** 30名
- ねらい** 作品をつくりだす喜び 環境保全への意識
- 時間** 60分 (夏季に行うと暑いため、作品を作るのが困難です。)
- 準備物**
 - [団体] 汚れてもよい服装
 - [購入するもの] ワックスボール
 - [ネイパル] 風船 ガスコンロ 鍋 バケツ たらい 竹串 ざる 新聞紙 布 彫刻刀 カッターなど

展開

時間	活動内容	留意点
(30分)	<ul style="list-style-type: none"> ●事前準備 <ul style="list-style-type: none"> ・汚れてもよい服装をする ・大量のロウを入れたなべを火にかけて溶かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にある道具 ガスコンロ、なべ、風船 たらい、カッター、布 彫刻刀、竹串、バケツ
5分	<ul style="list-style-type: none"> ●ワックスボールの作り方と趣旨の説明 <ul style="list-style-type: none"> ・作品をつくりだす喜びを味わう。 ・豊かな発想や創造力を引き出す。 ・作品のよさや面白さを感じ取る。 ・省エネルギーなど、環境保全について考える。 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●水風船づくり <ul style="list-style-type: none"> ・洗面所で風船に水を入れ、リンゴ大くらいにふくらませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ、空気を入れないようにする。
15分	<ul style="list-style-type: none"> ●ボールづくり <ul style="list-style-type: none"> ・風船をしずかに肩口くらいまでなべのロウにつけ取り出す。 ・ロウが5mm位の厚さになるまでロウにつけ、取り出すのをくりかえす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いてゆっくと作業する。
5分	<ul style="list-style-type: none"> ●ロウを固める <ul style="list-style-type: none"> ・風船の底を平らにするため、水をはったたらいの底に風船を押し当てる。 ・水の中で風船を竹串で割り、ロウを取り出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・風船につけたロウがあたたかいうちに風船の底を平らにする。
15分	<ul style="list-style-type: none"> ●形をととのえる(省略可) <ul style="list-style-type: none"> ・カッターや彫刻刀で、形をととのえ、模様などを彫り込む。 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●後片付け <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	

七宝焼き

対象 小学4年生以上 定員 30名

ねらい 作品をつくりだす喜び

時間 110分～120分

準備物 [団体] 新聞紙
 [購入するもの] 七宝焼キーホルダー
 [ネイパル] 七宝電気炉 制作用具（絵の具等）

展開

時間	活動内容	留意点
(50分)	<ul style="list-style-type: none"> ●事前準備 <ul style="list-style-type: none"> ・七宝電気炉を作動させ加熱を始める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にある道具 七宝焼き制作用具一式 七宝電気炉
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●七宝焼きの作り方と趣旨を説明 <ul style="list-style-type: none"> ・材料と用具の配付。 ・作品をつくりだす喜びを味わう。 ・豊かな発想や創造力を引き出す。 ・作品のよさや面白さを感じ取る。 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●七宝絵の具の準備 <ul style="list-style-type: none"> ・絵の具の入った容器に水を入れ、絵の具を洗う。 	
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●七宝素材（銅板）の下地づくり <ul style="list-style-type: none"> ・銅板の表面を紙やすりでみがく。 	
20分	<ul style="list-style-type: none"> ●絵の具の盛りつけ <ul style="list-style-type: none"> ・磨いた銅板の表面に下絵を書き、絵の具を盛りつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の具がはみださないように気をつける。
30分 40分	<ul style="list-style-type: none"> ●作品を焼く <ul style="list-style-type: none"> ・七宝電気炉に作品を入れて焼く。（1つ2分30秒程度） ・作品を取り出した後は、さわれる温度まで自然冷却する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やけどに注意
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●キーホルダーのとりつけ <ul style="list-style-type: none"> ・キーホルダー金具に、作品を接着剤ではりつける。 ～ できあがり ～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・金具にはまらない時は、金やすりで作品のまわりをけずる。
20分	<ul style="list-style-type: none"> ●後片付け 	



草木染め

- 対象** 小学生以上
- 定員** 30名
- ねらい** 作品をつくりだす喜び 快適な衣服とすまい 自然との関わり
- 時間** 180分
- 準備物** [団体] 草花 染色する白い木綿の布 カセットコンロ用ガス 豆乳又は牛乳 媒染剤
ゴム手袋 新聞紙
[ネイパル] カセットコンロ 草木染め用具一式

展開

時間	活動内容	留意点
(10分)	<ul style="list-style-type: none"> ●事前準備 ・汚れてもよい服装をし、調理用手袋を装着する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にある道具 草木染め用具一式
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●草木染めの方法と趣旨を説明 ・作品をつくりだす喜びを味わう。 ・豊かな発想や創造力を引き出す。 ・作品のよさや面白さを感じ取る。 	
20分	<ul style="list-style-type: none"> ●植物の採取 ・施設周辺の森で植物を採取する。(持参も可) 	<ul style="list-style-type: none"> ・毒草や毒虫に注意する
20分	<ul style="list-style-type: none"> ●布の精練 ・布の不純物をとりのぞく。 	
60分	<ul style="list-style-type: none"> ●染色液の抽出 ・植物を湯せんし、染色液をとる。(1時間以上) ・染色液に媒染剤(薬品)をいれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・媒染剤(色素の定着を高める薬品) ・薬品の取り扱いに十分注意する。
40分	<ul style="list-style-type: none"> ●染色 ・染色液に布を入れ煮染めする。(30分以上) 	
20分	<ul style="list-style-type: none"> ●水洗い・乾燥 ・染色した布を水洗いする。 ・風通しの良い日陰に干す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・完全乾燥まで数時間必要
10分	<ul style="list-style-type: none"> ●後片付け 	



うどんづくり（冬季11月～3月）


対象 小学生以上 **定員** 100名 （昼のみ）

ねらい 協調性の育成 日常の食事と調理の基礎

時間 150分

準備物 [団体] エプロン 三角布 使い捨て手袋 ふきん（各班2枚） テーブル拭き ポリ袋大（各班に2枚） 洗剤 スポンジ ラップ
[ネイパル] ボール ふるい めん棒 のし板 麺切包丁 こま板 新聞紙

展開

時間	活動内容	留意点
	<p>●事前準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つめを切り、手をよく洗う。 ・エプロン、三角布、使い捨て手袋を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設にある道具 ボール（大）、ふるい めん棒、のし板、麺切包丁、こま板
5分	<p>●うどんの作り方と趣旨の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の手で食べ物をつくりだすことの喜びを味わう。 ・共同作業による協調性を育てる。 ・清潔、安全に気をつけて行動する。 	
55分	<p>●うどんの生地づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボール内で粉をふるいにかける。 ・粉に食塩水をいれながら、指で全体に混ぜ合わせる。 ・両手で力を入れて、内側にもみこむように練る。 ・生地がまとまったら、ポリ袋に2重にして入れる。 ・ポリ袋に入れた生地を、まんべんなく足で踏みこしのある生地にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・丈夫な袋を用意する。
60分	<p>●ねかし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生地をぬれぶきんで包み、ラップで包んでねかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間以上ねかせる。 ・ねかせている間の活動などを考えておく。
40分	<p>●めんづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のし板とめん棒に打ち粉をして、ねかした生地をのばす。 ・のばした生地をたたんで、包丁で切る。 ・切っためんをほぐして、おぼんにならべる。 ・めんを厨房にもっていき、ゆでて調理してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく長方形になるようにのばす。 ・3mm～5mm程度同じめんの幅になるように切る。 ・めん同士がくっつかないように粉をまぶす。
20分	<p>●後片付け</p> <p>●試食（昼食）</p>	

ピザづくり（夏季5月～10月）

対象

小学生以上（昼のみ）

定員

石窯40名、簡易かまど120名

ねらい

食に関する体験的な活動 望ましい人間関係 異年齢集団交流 地産地消など

時間

180分～210分（人数で変動する）



準備物

[団体] エプロン、ハンダナ、軍手、ピザ食材（購入可能）、アルミホイル（大・数本）、ラップ（大・数本）、ふきん（各グループ2枚）、テーブルふき（各グループ1枚）、ゴミ袋（燃えるゴミ大1枚、燃えないゴミ1枚、生ごみ用1枚）、皿（紙皿）、調理用使い捨て手袋（1人2セット）、洗剤、スポンジ、まき（石窯、購入可）、炭（簡易かまど、購入可）

[ネイパル] のし板、のし棒、ボール、ふるい、フォーク、計量カップ、ピザカッター、スケッパー、ハサミ、まな板、包丁、トレー、水切りネット、小どんぶり、皿、金属製のヘラ、耐熱手袋（石窯）、ピザパドル（石窯）

展開

時間	活動内容	留意点
10分	●趣旨説明 ・ピザの調理工程、石窯の特性などの説明	・作り方の資料を班に配布。
30分	●ピザ生地づくり ・強力粉と薄力粉をふるいにかけて、イーストや砂糖、塩、水などを混ぜ、滑らかになるまでこねる。 ・サラダオイルをボールの内側にぬり、丸めた生地を入れ、ラップをかける。陽のあたる場所に置き発酵させる。（約30分～60分 生地が2倍に膨らむのが目安）	・発酵時間の中に野菜やウインナーを準備し、調理道具を片付ける。 ・トッピングの準備や片付けが終了し、時間が空いた場合のプログラムを検討しておく。
60分	◎石窯でピザを焼く場合 ・石窯の下段で薪を燃やし内部を加熱する。 ※ 窯内部のススが燃えて内壁が白くなるまで薪を燃やします。下段の火は、ピザを焼く時に「熾き火(おきび)」になっている事が理想的。	◎簡易かまどでピザを焼く場合 ・木炭に着火し、簡易かまどを組立てる ※ 木炭は、各かまどにそれぞれ必要。 準備が早すぎるとピザを焼き上げる前に木炭が燃え尽きてしまうので、タイミングが重要。
	●トッピングの用意 ・ウインナーや野菜を薄切りにする。 ●ピザの成型とトッピング ・2倍位にふくれた生地を、ガス抜きする。 ・生地をスケッパーで均等に切り分け、丸く平らに伸ばす。 ・アルミホイルを生地の大きさに合わせて、お皿を作る。 ・アルミホイルのお皿に打ち粉をしっかりとかけてから、伸ばした生地をのせる。	・アルミホイルのお皿にかけ打ち粉が少ないと生地とアルミホイルがくっつく。 ・ピザソースがのし板につくと取れないため、ピザソースをぬる前には、のし板を片付け。 ・のし板に粉が付着している

	<ul style="list-style-type: none"> 生地が膨らまないようにフォークで穴をあける。 ピザソース、具、チーズの順にトッピングする。 	場合は、金属製のヘラで削り取る。
30分 ～ 60分	<p>◎ 石窯でピザを焼く場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 上段にピザを入れたら、入り口をレンガでふさぎぐ。(一つのかまどには3～4枚入る。) 焼きムラにならないよう、必要に応じて位置を変える。 <p>※ 窯内部の温度にもよりますが、焼き上げまで5分～10分程度かかります。 また、後になるほど焼き上げに時間がかかる。</p> 	<p>◎ 簡易かまどでピザを焼く場合</p> <ul style="list-style-type: none"> かまどと木炭を配置する。 かまどにピザを1枚入れる。 中の様子を見て火加減を調整する。(炭を追加したり、除けたりする) 焼き上がったら次のピザと入れ替える以後繰り返し。 <p>※炭の状態によりますが、焼き上げまでは5分～10分程度かかる。</p> 
50分	<p>● 試食・片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> 片付けを分担し、元の場所へ道具を戻す。 	

《ピザ生地の発酵について》

- ① 当施設のピザ生地は、ドライイーストを使い発酵させることを行程に入れております。
イーストの発酵は、一緒に入れる砂糖の糖분을イーストが食べ増えていくことにより進みます。
発酵する温度は35℃前後が基準になっています。35℃付近でイーストが最速で発酵します。
イーストの活動できる温度は、4℃～55℃です。
60℃を超えるとイースト菌が死滅してしまいます。温度管理には、気をつけてください。
- ② ピザ生地の発酵の方法については、湯せんという方法もあります。
湯せんを行う場合は、お湯の温度が60℃以上にならないように注意してください。